

法執行機関によるSecure Access の活用

BABEL STREET INSIGHTS

法執行機関の専門家たちは、パトロール、逮捕、潜入捜査などで日々、身体的な危険に直面しています。そしてまた、オンライン上の捜査にも危険が伴います。例えばそれは、分析官によって麻薬密売人、人身売買人、性犯罪者、あるいは人間性に大きな問題のある人物を調査するためにインターネットの闇の部分を探られるような場合です。

このようなオンライン捜査では、捜査対象者の疑念を招かないよう、匿名性を保つことに細心の注意を払う必要があります。捜査員はしばしば、対象者のプロフィールに合わせてオンライン上のペルソナを丹念に作り上げ、犯罪の計画、議論、実行が行われるオンラインサイトの通常のトラフィックに紛れ込みます。

しかしながら、身元を偽るためにオンライン上のペルソナを作成しても、IPアドレスからすぐに組織や所在地がわかってしまうことに気づいていない捜査員は多いのです。捜査員は偽の身元を作成するだけでなく、デジタルフットプリントを注意深く隠蔽しなければいけません。また、捜査機関の機器やネットワークが、調査中に遭遇した脅威アクターやマルウェアにさらされないよう注意する必要があります。

法執行機関の専門家は、身元を隠し、捜査目的であることを悟られず、組織のインフラを保護しながら、デジタルフットプリントを残さないオンライン調査を行うための使いやすく安全な方法を必要としています。

何が危険にさらされているのか

ウェブの奥深くを閲覧することによって、捜査員はマルウェアやサイバー攻撃など、オンラインの脅威にさらされることになり、それはさらに組織のインフラやデータを危険にさらすことに繋がります。また、身元や意図が知られれば、捜査員や家族の個人的な安全も危険にさらされる可能性があります。

人身売買やその他の越境犯罪など、国境を越えて行われる捜査では、地理的にアクセスが制限されている可能性のあるデータへの完全なアクセスが必要です。このような制限を回避するルートがなければ、捜査当局は関与する組織の全体像を把握することができず、捜査の遅延、もしくは不正確な結果に終わることになりかねません。

Babel Street Secure Accessを活用するメリット

Babel Street Secure Accessは、法執行機関が組織のインフラを危険にさらしたり、身元を危うくしたりすることなく、従来の調査ツールでは実現できなかった機密性の高いオンライン調査を行うことを可能にする安全なウェブ閲覧ソリューションです。ユーザーは隔離された環境を活用して、匿名性とデータセキュリティを確保しながら、ディープウェブやダークウェブを含むさまざまなソースから得られる情報にアクセスし、分析することができます。

さらに、Secure AccessをBabel Street Insightsと併用することで、保護された仮想環境内で、Insightsの検索結果の外部ソースに安全にアクセスすることができます。

機能紹介：

アイデンティティの隠蔽 — Secure Accessは接続元IPアドレスを追跡しがたくし、機密性の高い業務や調査中に身元を特定されるリスクを排除します。捜査員は、複数のオンラインペルソナを作成・育成し、仮想環境内でそのペルソナを一貫して利用することで、オンラインマーケットやディスカッションフォーラム上で、個々のターゲットと匿名で継続的に交流することができます。



ネットワークの保護 — マルウェアや破壊的なサイバー攻撃からのローカルマシンとネットワークの保護に加え、Secure Accessはダウンロード時のファイルスキャンと安全なデータ転送を提供します。また、完全なデスクトップ機能を擁しているため、仮想環境内でファイルを開いて閲覧することもできます。

グローバルな情報に制限なくアクセス — Secure Accessは、6万を超えるエグレスポイントを持つ広範なプロキシネットワークを使用しており、ポイント選択とマルチホップパスにより、国境を越えて世界中のあらゆる場所の情報にアクセスすることができます。このようにして、捜査員は地理的制限を回避し、現地の確かな視点を得ることができます。Secure Accessにより、様々なオンラインプラットフォームへの低遅延で中断されないアクセスを確保することができます。

モバイル機器のエミュレーション — SMSや暗号化されたメッセージングアプリを介して調査対象者とやり取りする必要がある場合、Secure Accessは電話通信と二要素認証用のAndroidのエミュレーション環境を提供します。

行動監視システムの回避 — Secure Accessのトラフィックは、既存のシステム活動パターンに溶け込むよう慎重に設計されており、異常な活動であると見なされないようになっています。これにより、デジタルペルソナが「ボット」アカウントとしてフラグ付けされるのを防ぎます。そのため、ボットとみなされることで生じる、業務への重大な支障や、捜査員の作業が妨げられる恐れを回避することができます。

コラボレーションと監査 — Secure Accessにより、チームは調査結果を共有し、データのサイロ化を解消し、ワークフローを合理化して調査を迅速化できます。また、強固なアクティビティ追跡と監査機能により、透明性を確保し、組織のポリシーへのコンプライアンスを維持します。

Babel Streetのアトリビュションマネジメントソリューションにより、法執行専門家はオープンソース情報を最大限に活用し、今日の巧妙化した犯罪者に対して説得力と正当性を備えた立件を行うことができます。



Babel Street は、世界で最も高度なアイデンティティ・インテリジェンスとリスク管理を可能にする、信頼、実績のあるテクノロジーパートナーです。Babel Street Insights プラットフォームは、リスクと信頼のギャップを埋める高度な AI およびデータ分析ソリューションを提供します。

Babel Street は、言語を問わず他に類を見ない分析対応データ、能動的なリスク識別、360 度のインサイト、高速自動化、既存システムへのシームレスな統合を提供します。当社は、政府機関や企業組織が、重要なアイデンティティおよびリスク管理を戦略的な優位性に変換できるように支援します。

詳細については、babelstreet.jp をご覧ください。